

水インフラマネジメント大学

水インフラ産業の将来展望と人材育成



Water-n代表理事
奥田 早希子氏
東亜グラウト工業社長
山口 乃理夫氏
フソウ社長
角 尚宣氏

出席者

上下水道事業はほとんど整備が完了し、「つくる時代」から「マネジメントの時代」に重心を移す。既存の水インフラを使った新たな価値を創造する上で、水インフラ産業界の「オソト」である他分野との連携、そして「オソト」志向の人材が強く求められるようになる。先駆的なビジネス展開を志向する東亜グラウト工業の山口乃理夫社長、フソウの角尚宣社長と、「オソト」の視点・領域を取り入れた講義を実践する水インフラマネジメント大学の運営者であるWater-n(ウォータン)の奥田早希子代表理事に「水インフラ産業の将来展望や人材育成」をテーマに語り合ってもらった。

「オソト」志向で新たな価値を創造

奥田 水インフラ業界が「マネジメントの時代」に移行しつつあります。業界をけん引する企業のおふたりは時代の変化をどのように感じていますか。

山口 インフラの老朽化による事故が目につくようになってきました。喫緊の課題は、私たちの安全な生活を脅かす事故の防止だと考えています。最近ではドローンによる点検技術をはじめ、インフラメンテナンス分野での研究も盛んに行われており、つくる時代からメンテナンスし、マネジメントする時代に入ったと実感しています。また地球温暖化が進めば、これまで以上に災害が増えるのは必至です。今後は「メンテナンス」と「防災」が各企業で重要なキーワードになってくるでしょう。

角 生産年齢人口の減少から生じるさまざまな課題も避けては通ることができません。人口が増加して税収が増えている時代は、何にも気にする必要はななくストックを増やして維持ができました。生産年齢人口が減少に転じた現在では、これまでに整備したインフラをどう効率的に管理していくかを検討する必要があるでしょう。維持管理を進める上では上下水道だけで事業を進めるのではなく、インフラ全体のストックマネジメントをするべきだと思います。間違いない他分野とのつながりが必要な時代になりました。

高まるメンテナンス需要
奥田 インフラメンテナンスや防災の需要が高まり、改めてメンテナンス時代への移行期にあると痛感しています。

山口 お陰様で管路の修繕・改良に際して、当社の管路更生工法(光硬化工法)は多くの自治体採用頂いておりますが、常に危機感を持っています。下水管路の敷設延長距離は48万m。今後老朽化が本格化するにつれ、修繕・改良が必要な箇所は増加の一途をたどりますが、現在の予算で全ての対象箇所をすべてを施工するのは難しいと言わざるを得ません。また多くの管路修繕・改良工法はプラスチック材料でできています。今後は従来以上に材料品質や施工方法の改善を強く求められるようになるでしょう。もちろん当社だけではありません。全ての企業が同様の対応を求められます。そんな中、これからのキーワードは「安く・早く・大量に」「環境」だと私は考えています。

角 管路についてはさまざまな修繕方法があると思います。土地の特性や地上にどのような施設があるのかに応じて、より効率的に管路更新を行える方法を模索していくべきです。管路更新を行うのか、もしくは掘り起こすのかなどを慎重に決める必要があります。



山口氏

奥田 角社長はどのような変化を感じますか。

角 社長がおっしゃったようにメンテナンスや防災の要望は圧倒的に増えています。DBO(設計・建設・運営)方式が増え、「つくりきり」で「モノをつくる」というインフラコストから、長いスパンでのランニングコストについて説明を求められています。逆にいえばインフラコストが多少高くても、数十年間のランニングコストで優位性があれば選んでいただける傾向にあります。顧客の視点は、ただつくることから完成後の効率的な運用へと変わってきました。

経営戦略と人材マネジメント
奥田 顧客の要望が変化し、競合他社が増えるなど社会のニーズを丁寧に読み取る必要がありそうです。次に一層の発展に向けた各社の経営戦略について伺います。

角 今の時代に求められるものは何かを見つめ直し、会社の役割・存在意義をしっかりと見極めていきます。業界内外問わず顧客の要望に対して、最善解をどのように出せるかに取り組んでいかなければならないと再確認しました。当社の特徴であるエンジニアリング事業や、異なる強みを持つグループ企業と力を結集した総合力で、顧客へのより良い提案を追求します。実現に向けてまずは知識や技術を伸ばすこと

水インフラマネジメント大学(水マネ大)
 上下水道事業はほぼ整備を終え、モノを作る需要が減ったため、業界は少し元気を失っているようにも見えます。しかし、今を变革の時期ととらえれば、新しいコト・価値づくりに向けて新規事業を創造する楽しみが見えてくるのではないのでしょうか。では、これからの社会にどのようなコト・価値が求められるのか。そのヒントは、異種(他業界・異業種・他社・ヨソ者)、つまり自業界・自社・自分の枠を飛び越えた「オソト」にあると考えます。上下水道の人が、上下水道のために、上下水道のことを考えているだけでは、最適解を手繰り寄せることは難しい。変革に向けて新規事業にチャレンジするには、「オソト」志向の人材が求められます。「水インフラマネジメント大学」(水マネ大)は、こうしたニーズや課題に対応し、「オソト」の視点・領域を取り入れた講義テーマを設定しています。

使命
 社会・地域・まちをよくするという高い目標を持ち、水インフラによるコト的な価値創造と、価値創造時代の水インフラマネジメントの社会実装に向け、新規事業開発にチャレンジできる人材育成のサポートを通して、魅力と元気あふれる水インフラ産業界の構築に貢献する。

コンセプト
 水インフラ×「オソト」異種との掛け算で水インフラ産業の新たな価値や可能性を発掘する

形式(2021年度)
 オンライン(Zoom)

開講日(2021年度)
 第2、第4水曜日
 1コマ目:14:00~15:30
 2コマ目:15:40~17:10
 意見交換:17:10~17:30

主な講義テーマ(2021年度)
 イノベーション、チームビルディング、情報革命、脱炭素、投資家目線、国・自治体予算、財政、M&A、シミュレーション、PPP・PFI・コンセッション(国内外)、事業評価、ソーシャルインパクトボンド、創造型公共事業、まちづくり、合意形成、橋梁マネジメント、道路マネジメント、鉄道マネジメントなど

2022年度受講申込は2月開始予定
<https://water-n.com/wimuniv/>



オンライン講義の様子

ニーズを知って社会の要請に応える



奥田氏

奥田 経営戦略の実現には人材マネジメントが非常に重要だと思います。次世代を担う人材の育成についてお聞

角 今の時代に求められるものは何かを見つめ直し、会社の役割・存在意義をしっかりと見極めていきます。業界内外問わず顧客の要望に対して、最善解をどのように出せるかに取り組んでいかなければならないと再確認しました。当社の特徴であるエンジニアリング事業や、異なる強みを持つグループ企業と力を結集した総合力で、顧客へのより良い提案を追求します。実現に向けてまずは知識や技術を伸ばすこと

奥田 ある意味で同じモノを作ることを求められたこれまでとは異なり、水インフラを使って創出し、提供するべき価値は地域ごとに多種多様です。その最適解を手繰り寄せるには、水インフラをどうするか、ではなく、地域やまちをどうするか、という視点が重要です。そこには道路や橋、鉄道、商店なども含まれます。それを私たちが運営する水インフラマネジメント大学では、新しい何かにチャレンジできる「オソト」志向の人材育成のサポートをしています。

山口 山口社長の講義は受講生に好評です。アンケートで一番印象に残った講義として挙げた方が何人もいらっしゃいました。

角 私も何度か拝見させていただきました。受講している当社の社員にも好評です。今後ぜひ続けていってほしいと思います。

奥田 受講生に好評ということは、社会や業界に必要とされていることを示しているのだと思います。水インフラ業界の未来を担っていくには、このような人材の育成が非常に重要だと思います。



角氏

奥田 角社長はどのような変化を感じますか。

角 社長がおっしゃったようにメンテナンスや防災の要望は圧倒的に増えています。DBO(設計・建設・運営)方式が増え、「つくりきり」で「モノをつくる」というインフラコストから、長いスパンでのランニングコストについて説明を求められています。逆にいえばインフラコストが多少高くても、数十年間のランニングコストで優位性があれば選んでいただける傾向にあります。顧客の視点は、ただつくることから完成後の効率的な運用へと変わってきました。

経営戦略と人材マネジメント
奥田 顧客の要望が変化し、競合他社が増えるなど社会のニーズを丁寧に読み取る必要がありそうです。次に一層の発展に向けた各社の経営戦略について伺います。

角 今の時代に求められるものは何かを見つめ直し、会社の役割・存在意義をしっかりと見極めていきます。業界内外問わず顧客の要望に対して、最善解をどのように出せるかに取り組んでいかなければならないと再確認しました。当社の特徴であるエンジニアリング事業や、異なる強みを持つグループ企業と力を結集した総合力で、顧客へのより良い提案を追求します。実現に向けてまずは知識や技術を伸ばすこと

水インフラマネジメント大学

水マネ大

オソト志向で水インフラ産業の新たな価値を創造しよう

「水インフラマネジメント大学」は、一般社団法人 Water-n のセミナー事業です。

一般社団法人 Water-n 代表理事 奥田早希子 <http://www.water-n.com>